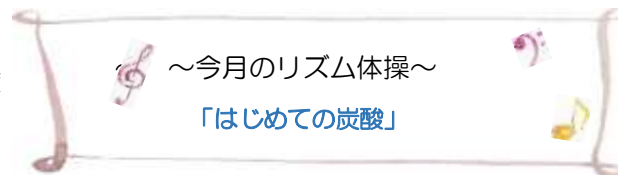




なみしま保育園

2月

令和7年度
(2026)



～今月のリズム体操～

「はじめての炭酸」



日本各地で寒波の到来による被害や混雑等が心配されているニュースが日々飛び込んできていますが、保育園の子ども達は冷たい風に頬や鼻を赤くしながら、寒さに負けずにマラソンにチャレンジしたり、お友達とのおいかけっこに夢中になる元気いっぱいの姿があります。また、室内では節分に向けての製作も着々と進み、豆まきへ向けて子ども達の期待も高まってきているようです。当日子ども達の「おにはーそと！」の元気な声が響くのが楽しみです。今年も残り2ヶ月。暦の上では春を迎えますが、まだまだ寒い日が続きそうですので、体調管理には気をつけながら子ども達との時間を大切に1日1日を過ごしていきたいと思います。

～新しいお友達の紹介～
ひよこぐみ・ゆずきさん
みおんさんの妹です。



... 波島っ子のつぶやき

～粘土遊び中の会話～

5歳児Sさん、Kさん、Yさん

Sさん「さね、いねにかえてすぐにおかしたべるよ。そしてじかんきめてゲームしてる」

Kさん「Kもじかんきめてゲームしてるよ」

Yさん「Yちゃんはやすみのときしかyoutubeみれないとよ・・・」

・・・お家でのお約束事、これからもしっかりまもっていきましようね。

2週間の保育参加週間、お忙しい中ご参加頂きありがとうございます。子ども達は保護者の方が側にいらっしゃることで、甘える様子もありましたが、活動中進んで参加したり、チャレンジしてみたりと・・・お家とはまた違った子ども達の姿やお友達との関わりを見て頂けたのではないのでしょうか。これからも気になる事等ありましたら、気軽に職員までお声掛けください。



○宮崎学園女子短期大学実習生

・2/12日(木)～2/25日(水)の間、1名の学生が実習に来ます。

○2/24日(火)園外保育(1,2組)

・1,2組は市民の森へお出かけする予定です。詳細はまたお知らせ致します。

①乳児はしっかり肌を離すな
肌と肌を触れ合わせることで安心感を育んでいく(アタッチメントの形成)時期だよ。育てる側との信頼関係を築き、この社会で生きていく準備をするんだね。
②幼児は肌を離せ、手を離すな
肌を離れて、生活の場を少しずつ外の世界へ広げていくよ。あふれる好奇心から危険へ飛び出してしまわないように、しっかりと手を握って保護することが必要な時期だね。
③少年は手を離せ、目を離すな
大人に守られるように引かれていた手を離し、徐々に学校をはじめとした社会生活の中に飛び込んでいく時期だよ。子どもを信頼して外の世界へ送り出しつつ、すばやく危険を察知できるように目だけは離さず、子どもがいつでも帰ってこられる拠り所になろう。
④青年は目を離せ、心を離すな
自身で危険を察知できるようになる青年期では、子どもを「一人の大人」として信頼し、目を離してみよう。自己の課題と向き合いながら、自分の在り方と葛藤するための土台となるのが、家庭への信頼感なんだ。だから心の根っこはいつも家庭と繋がっていられるように、心配りができるといいね。「自分は必要とされている」と感じられる状態が子どもの心の安定になるよ。
～アメリカインディアン/子育て四訓より引用～